様　式　Ｃ－１９、Ｆ－１９、Ｚ－１９　（共通）

科学研究費助成事業　　研究成果報告書

平成 ２７ 年　 ６ 月 １２ 日現在

機関番号：３８００２
研究種目：若手研究(B)
研究期間：2012～2014
課題番号：２４７００６３５

研究課題名（和文）体育授業の構想と実践を担う教師の力量形成を目指した教師教育の改善に関する研究

研究課題名（英文）A study on the improvement of teacher education aimed at developing the competence of teachers who are in charge of the design and practice of physical education classes

研究代表者
嘉数　健悟（KAKAZU, KENGO）

沖縄大学・人文学部・准教授

研究者番号：５０６１２７９３

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費）　　2,400,000円

研究成果の概要（和文）：　本研究では教師志望学生および現職教師を対象として，教員養成カリキュラムや研修等が体育授業観などの形成に与える影響について考察することを目的とした。その結果，わが国では教師の「信念」を検討する際に授業観や子ども観などとの関連で検討されていること，授業観が授業の構想や実践に関する力量形成において重要な要因として捉えられていることを明らかにした。また，教員養成段階における授業観は，教育実習の経験によってその保持する内容の具体性に違いがあることなどを明らかにした。さらに，初任教師は初任者研修やその他の研修を通して，同僚や同期からの影響によって授業観が変容する傾向にあることも明らかにした。

研究成果の概要（英文）：　This study investigated the development of competence of pre-service teachers and in-service teachers pertaining to physical education classes. This study also examined how teacher-cultivation curricula and novice physical education teachers' classes and training influence the formation of their views regarding physical education classes. The results of this study reveal that teachers' "beliefs" in Japan were considered in relation to the views on classes or views on children and that the views on classes were regarded as an important factor in the development of "competence" in class design and practice. It was also revealed that the views on classes during the teacher cultivation phase varied in how robust they were with regard to practical teaching experience. Further, novice teachers' views on classes tended to change through training for novices and other training as well as due to the influence from peers and those who became teachers in the same year.

研究分野：体育科教育学

キーワード：教師志望学生　体育授業観　体育授業

１．研究開始当初の背景

わが国では，教師研究の発展の大半がアメリカの研究に追っているのが現状であるものの，教師の学習観や授業観は文化や社会にその多くを規定されているとの認識に基づき，日本の教師の認知過程を明らかにするわが国独自の研究が数多くなされることが必要であると指摘されている（秋田，1992）。さらに，教科や教材内容に即した授業に関する教師の知識の内容や構造などが十分解明されていない現状を指摘し，この分野の研究の必要性も主張されてきている。

一方，国外に目を向けてみると，とりわけアメリカではこのような関心事をめぐる研究が活発に展開されてきている。佐藤（1999）によれば，アメリカの教育学会では約 10 年の間に新設の「教師研究」の部会が「授業と学習」の部会についで大きな部会となり，公表された論文の多数を占める状況となっている。そのアメリカの教師研究の分野では，授業研究を基軸として「教師の思考研究」「教師の知識研究」「反省的実践の研究」という 3 つのアプローチが活発になってきていると指摘されている。この潮流は，体育教師に関する研究においても，教師をめぐるこうした研究動向のもとで，とりわけ教師の知識，認識，信念に焦点を当てた研究が注目されてきている（例えば，Doolittle & Dodds et al., 1993；Graber, 1995）。このような認識のもと，教師志望学生や現職教師の体育授業に関する認識や信念といった授業観などの様態や変容を明らかにする研究が，国外では盛んに行われており，教員研修や教員養成カリキュラム，教育実習の経験などと関連付けた追跡的研究も行われている。

例えば，アメリカでは，教員養成段階と現職教育段階で要求される教師の 3 つの能力規準（「知識（knowledge）」「指導能力（performance）」「態度・意欲（disposition）」）が開発され，カリキュラムレベル・授業レベルで個々の能力を学生に習得させるための様々な試みと検証結果が報告されている。また，シンガポールでは「教職スタンダード」が提示され，提示したそれぞれの力量が教師として，どのくらい有効で，どの程度機能しているのかを検証し，それらを踏まえた上で時代に即した教師あるいは，より優秀な教師を養成しようとする試みがされている。さらに，現職研修においても教師の力量に合わせてそれに準じた研修プログラムがあり，教師のライフコースに合わせた研修や修士号の取得を目指し力量の形成を図っている。

以上を踏まえると，秋田（1992）も指摘しているように，教育や教師を取り巻く文化や社会などの違いを考慮すると，日本の教師の力量形成を図るためには，日本の教師や教師志望学生についての研究が不可欠であると思われる。また，近年話題になっている 4 年+α という教員養成段階から初任段階までの教師の入り口における彼らの力量の向上に資する教師教育の方策も求められているといえる。

２．研究の目的

そこで，本研究では教員養成系学部に在学中の教師志望学生および現職教師（とりわけ初任教師）を対象として，体育授業に関する彼らの力量形成の実態を知識，認識，思考，および信念等に焦点をあてて明らかにし，教員養成カリキュラムおよび初任体育教師の授業や研修が，彼らの体育授業観などの形成や変容に与える影響について考察することを目的とした。

具体的には，以下の課題を設定した。

第 1 の研究課題は，国内外の文献や研究資料などをもとに，体育授業の構想や実践に関わる教師の知識，思考，信念，授業観などに関与する研究の成果や課題を把握し，今後の調査の内容や結果などを多面的に分析，考察していくための論点や視点を整理する。

第 2 の研究課題は，教師志望学生を対象として，体育授業の構想や実践に関わる教師の知識，思考，信念，授業観などを教員養成カリキュラム全体を通して多角的に検証する。

第 3 の研究課題は，現職教師を対象として，体育教育に関する研修の内容や方法，および体育授業の構想や実践に関わる教師の知識，思考，信念，授業観などを検証する。

第 4 の研究課題は，国外において取り組まれている体育教師の専門性向上の方策について文献調査により把握するとともに，その実態を現地で調査し，その特徴や課題を把握する。そして，日本の教員養成及び現職教師教育における専門性向上の取り組みの実態と比較検討する。

３．研究の方法

本研究では，調査資料の多くが質的なデータであった。そのため，質問紙調査の調査結果はコンピュータにテキストデータとして入力して処理した。また，参与観察やインタビューなどによる記録は，ビデオカメラやボイスレコーダーによって記録し，それらのデータを文字化，コード化して KJ 法（川喜田，1967）などを用いて帰納的に分類し，処理した。さらに，データの信頼性，妥当性を検証するためのメンバーチェックやトライアンギュレーションなども実施した。

４．研究成果

設定した第 1 の研究課題は，国内外における体育授業の構想や実践に関わる教師の知識，思考，信念，授業観などに関与する研究の成果や課題等を把握し，整理することであった。その中で，欧米における体育教師志望学生の「信念」に関する研究成果を踏まえると共通する 3 つの知見を挙げることができた。

第 1 に体育教師志望学生は，大学の講義や教育実習等を通して学んだことが体育授業に関する「信念」の形成にとって重要な役割

を担っている（Doolittle et al., 1993；Graber, 1995；Matanin & Collier, 2003；Tsangaridou, 2008）という指摘である。

第 2 に「信念」の大部分は，生徒としての過去の経験に由来する（Doolittle et al., 1993；Matanin & Collier, 2003）ということである。

第 3 に，「信念」の形成には，大学の講義や教育実習を担当する教師教育者の影響についての指摘である（Doolittle et al., 1993；Graber, 1995；Karp & Woods, 2008；Tsangaridou, 2008）。

これらの指摘は，何を重視して体育授業を実践しようとしているのか，子どもたちに何を学んでほしいのかなど，体育教師志望学生がどのように体育授業に関する自己の「信念」を形成していくのかについて重要な視点を与えていると考えられた。

一方，わが国では体育教師や体育教師志望学生を対象とした研究において，教師の「信念」に関する研究の必要性は指摘されているものの，その後の研究が展開されていないのが現状であった。また，わが国では教師の「信念」を検討する際に，授業観や子ども観などとの関連において検討されていた。特に，授業観は，授業の構想や実践に関する「力量」形成において重要な要因として捉えられていることが明らかとなった。

次に第 2 の研究課題は，教師志望学生を対象として，体育授業の構想や実践に関わる教師の知識，思考，信念，授業観などを明らかにすることであった。その結果，「各教科の指導法に関する科目」の授業を通して，体育教師志望学生の体育授業観は，「体育授業の目標」，「体育授業の雰囲気」，「体育授業の実践」の 3 つであることを明らかにした。

また，教育実習の前後における体育教師志望学生の体育授業観を明らかにし，それらが教育実習を通してどのように変容するのかについても検討した。その結果，教育実習前後において体育教師志望学生が保持する体育授業観は，「体育授業において身につけさせたいこと」，「体育授業における生徒の雰囲気」，「体育授業の実践」の 3 つであることを明らかにした。とりわけ，教育実習の前後における体育教師志望学生の体育授業観の変容には，実際の生徒たちと自分の計画し実践した授業の間にズレがあることに気づくことが契機となることも明らかとなった。そして，その変容には授業の計画から実践，日々の反省会における指導教員の指導が影響していることが推察された。自己の授業観通りの授業がある程度実践されることに加えて，教職の志望度などが要因となり，教育実習において生徒について学ぶことや授業を改善するということに意識が向かない体育教師志望学生がいることも示唆された.

さらに，教師志望学生の体育授業観の内容を明らかにするために，体育授業観に関する尺度を構成し，学年間の差異についても検討した。その結果，教員養成段階における学生たちが保持する体育授業観は，「生徒を動機づける授業」「雰囲気の良い授業」「理想的な授業」の 3 つの因子から構成されること（表 1），抽出された因子に学年間の差異はないが，教員養成の段階では，保持している授業観が強化される傾向にあることが示唆される，などの 5 点を明らかにした。

表 1　「目指す体育授業」の因子分析の結果

項目内容		第1因子 生徒を動機づける授業	第2因子 雰囲気の良い授業	第3因子 理想的な授業	共通性	α係数
生徒の興味を引く授業		**.806**	-.013	-.008	.595	.822
メリハリのある授業		**.795**	.032	-.161	.436	
運動の苦手な生徒も楽しめる授業		**.671**	-.092	.055	.489	
体育が待ち遠しくなる授業		**.624**	-.053	-.012	.379	
上達することを味わえる授業		**.548**	.133	.039	.329	
生徒が真剣に取り組む授業		**.503**	.024	.128	.365	
生徒の成功をほめられる授業		**.355**	-.054	.175	.342	
運動することに意欲が低下する授業*		.046	**.811**	.014	.652	.686
笑顔のない授業*		-.018	**.782**	.059	.629	
生徒が消極的に活動する授業*		.015	**.583**	-.013	.452	
運動の苦手な生徒が消極的に活動する授業*		-.049	**.435**	-.090	.408	
教師と生徒が一体となった授業		.012	-.133	**.635**	.376	.646
1人1人の個性を重視した授業		.111	.121	**.609**	.403	
教師と生徒が楽しむ授業		-.085	.042	**.519**	.206	
わかりやすく説明する授業		.066	-.052	**.435**	.286	
	固有値	4.334	2.291	1.210		
	分　散	28.894	15.271	8.068		
因子間相関	第1因子	-				
	第2因子	-.165	-			
	第3因子	.641	.054	-		

次に第 3 の研究課題は，現職教師を対象として，体育教育に関する研修の内容や方法，および体育授業の構想や実践に関わる教師の知識，思考，信念，授業観などを検証することであった。その結果，初任期の教師は，養成段階に保持していた授業観が変化し，他の授業観を保持するようになることが示唆された。また，初任者研修やその他の研修を通して，同僚や同期からの影響を受けることで授業観が変容する傾向にあった。さらに，中学校保健体育教師を対象として，体育授業について悩みの度合いについても明らかにし，さらに教職歴による差異を明らかにした。その結果，保健体育教師の体育授業についての悩みは，低い傾向にあるものの，ダンスや武道柔道の学習指導に関する質問項目については他と比較すると高い傾向にある，若手保健体育教師は，授業の実践に関する悩みを抱えながらも，生徒指導や部活動指導などそれ以外の役割を求められており，授業の充実や改善に向けて十分に取り組めていない傾向にある，などの 3 点が明らかとなった。

第 4 の研究課題は，国外において取り組まれている体育教師の専門性向上の方策について文献調査により把握し，その実態を現地で調査し，その特徴や課題を把握することであった。その結果，シンガポールでは，「Value」「Skills」「knowledge」をもとに，各教員が授業を構成しており，e-portfolio を活用して質保証の一端を担っていることが明らかとなった。また，教育実習の評価は，アメリカやイギリス，オーストラリア，カナダなどの諸外国を参考に作成した評価シートによって行っており，教師としての振る舞いや態度などを重視しているようである。

しかしながら，今回の研究ではそれぞれの研究課題で検討した体育授業観が，模擬授業

という実践的な経験の影響なのか，講義と模擬授業という往還的な講義内容の影響なのか，教育実習の経験なのかなど，体育教師志望学生の個々の実態について詳細に迫ることが出来なかった。また，今回の結果は，「目指す体育授業」として教師志望学生が記述によって表現したものを授業観として捉え，検討したものである。そのため，教師志望学生が模擬授業や教育実習での授業実践においてどのような指導を行っていたのか，何につまずいていたのかといった実際の授業場面と体育授業観との関連については検討できていない。今後は，教師志望学生の授業場面の参与観察や個々の教師志望学生の縦断的な調査など，体育授業観の変容過程を検討していく必要があると思われる。

＜引用参考文献＞

秋田喜代美 (1992) 教師の知識と思考に関する研究動向．東京大学教育学部紀要 32 ：221-232.

Doolittle, S., Dodds, P., Placek, J. (1993) Persistence of beliefs about teaching during formal training of preservice teachers. Journal of Teaching in Physical Education12：355-365.

Graber,Kim C. (1995) The influence of teacher education programs on the beliefs of student Teachers: General pedagogical knowledge, pedagogical content knowledge, and teacher education course work．Journal of Teaching in Physical Education14(2)：157-178.

嘉数健悟・岩田昌太郎（2010a）シンガポールにおける教員養成と現職研修のプログラムについて－NIE での調査を手がかりに－．教育学研究ジャーナル 7：1-10.

川喜田二郎（1967）発想法．中央公論新社：東京.

Karp, G.G. and Woods, M.L. (2008) Preservice Teachers' Perceptions About Assessment and Its Implementation. Journal of Teaching in Physical Education27(3)：327-346.

Matain, M. and Collier, C. (2003) Longitudinal Analysis of Preservice Teachers ' Beliefs About Teaching Physical Education. Journal of Teaching in Physical Education 22(2)：153-168.

佐藤学（1999）第 6 章　カリキュラム研究と教師教育 安彦忠彦編 新版 カリキュラム研究入門．勁草書房：東京，pp157-169.

Tsangaridou, N (2008) Trainee primary teachers`beliefs and practices about physical education during student teaching. Physical Education and Sport Pedagogy 13(2)：131-152.

山崎敬人（2007）理科教師の専門的力量の向上を目指した教師教育の改善に関する研究（課題番号 15500592）．平成 15 年度～平成 18 年度科学研究費補助金（基盤研究 C）研究成果報告書．研究代表者：山崎敬人

５．主な発表論文等

（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

〔雑誌論文〕（計 8 件）

1）上地幸市・嘉数健悟（2015）大学におけるアクティブラーニングを導入した授業の工夫－「教職実践演習」におけるワークショップ型授業を通して－. 教職実践研究 5：9-16（査読有）

2）嘉数健悟（2014）中国の学校体育－北京市海淀区の小学校体育授業研究会に参加して－．体育科教育 62（9）：42-45（査読無）

3）嘉数健悟（2014）保健体育教師を志望する学生の保健授業観に関する研究．学校保健研究 56（5）：376-382（査読有）

4）嘉数健悟・江藤真生子（2014）体育教師志望学生の授業観の様態に関する研究－「教科の指導法に関する科目」の授業前後に着目して－．九州体育・スポーツ学研究 28（2）：1-11（査読有）

5）嘉数健悟（2013）教育実習で変わる授業観．体育科教育 61（11）：58-59（査読無）

6）嘉数健悟・岩田昌太郎（2013）教員養成段階における体育授業観の変容に関する研究－教育実習前後に着目して－．体育科教育学研究 29（1）：35-48（査読有）

7）嘉数健悟・上地幸市（2013）目標準拠評価による中学校の保健体育科における評定および観点別評価の相関についての事例研究－A 中学校を事例として－．教職実践研究 3：1-7（査読有）

8）嘉数健悟（2012）体育教師志望学生の体育授業観に関する事例研究－因子構造と学年間の差異－．広島大学大学院教育学研

究科紀要第Ⅱ部（文化教育開発関連領域）61：291-297（査読無）

〔学会発表〕（計 6 件）

1）嘉数健悟・岩田昌太郎・前田一篤（2014）保健体育教師の力量形成に関する事例研究－養成段階から初任期の授業観を中心に－．第 65 回日本体育学会全国大会，2014 年 8 月 25 日～28 日，岩手大学

2）嘉数健悟・岩田昌太郎・江藤真生子（2013）教育実習における体育教師志望学生の授業の構想に関する研究．第 39 回日本教科教育学会全国大会，2013 年 11 月 23 日～24 日，岡山大学

3）岩田昌太郎・嘉数健悟（2013）中学校保健体育教師における現職研究の効果に関する研究－研修に求める機能に着目して－．第 39 回日本教科教育学会全国大会，2013 年 11 月 23 日～24 日，岡山大学

4）嘉数健悟・岩田昌太郎（2013）中学校保健体育教師の悩み事に関する調査研究－O 県の保健体育教師を事例として－．第 33 回日本スポーツ教育学会，2013 年 10 月 19 日～20 日，日本大学

5）岩田昌太郎・嘉数健悟・齊藤一彦ほか（2013）若手の保健体育教師の悩み事に関する事例研究－学校環境の相違に着目して－．第 64 回日本体育学会全国大会，2013 年 8 月 28 日～30 日，立命館大学

6）嘉数健悟・岩田昌太郎（2012）教師志望学生の体育授業観の変容に関する事例研究－「教科の指導法に関する科目」の授業前後による検討－．第 63 回日本体育学会全国大会，2012 年 8 月 23 日，東海大学

〔図書〕（計 0　件）

〔産業財産権〕

○出願状況（計 0 件）

○取得状況（計 0 件）

〔その他〕

ホームページ等

６．研究組織

(1)研究代表者

嘉数 健悟（KAKAZU, Kengo）

沖縄大学・人文学部・准教授

研究者番号：50612793

(2)研究分担者

なし

(3)連携研究者

なし

(4)研究協力者

岩田昌太郎（IWATA, Shotaro）

広島大学大学院・教育学研究科・准教授